

安倍総理街頭演説「こんな人たち」

皆さん、あのように人の主張の訴える場所に来て、演説を邪魔するような行為を、私たち自民党は絶対にしません…憎悪からはなんにも生まれない。相手を誹謗中傷したって、みなさん、何も生まれないんです。

こんな人たちに、私たちは負けるわけにはいかない！



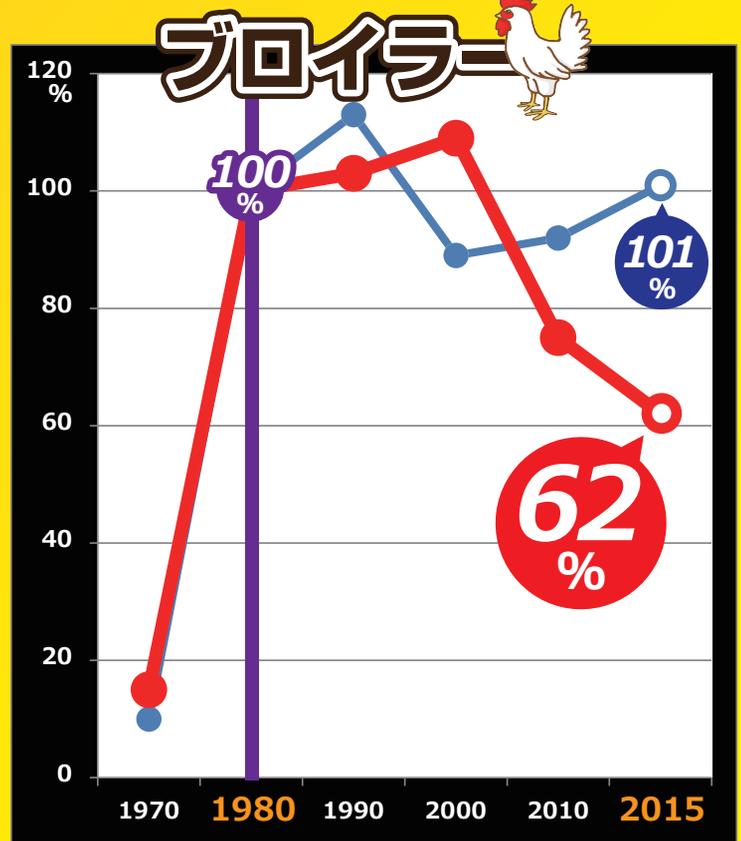
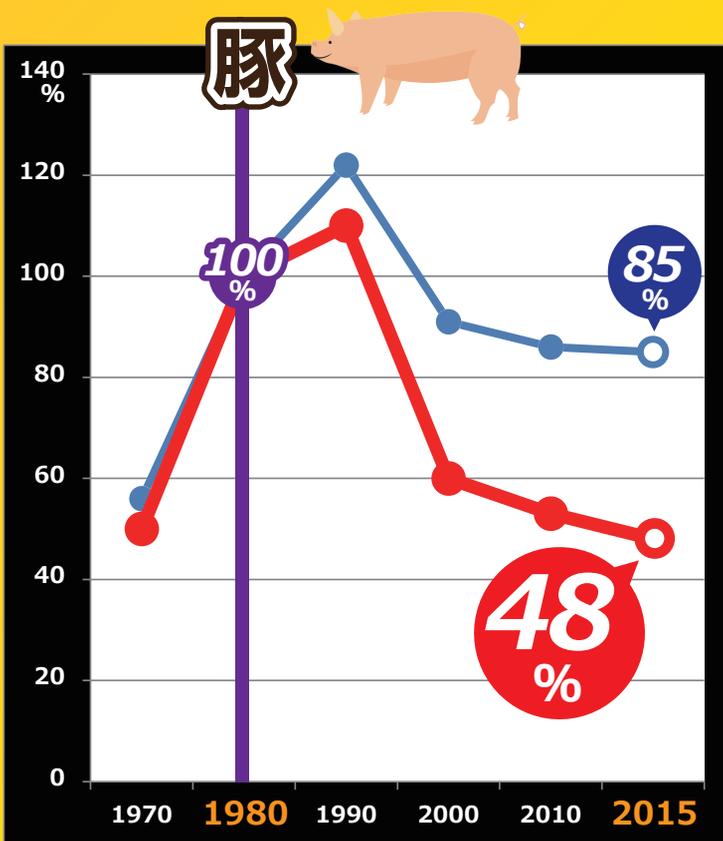
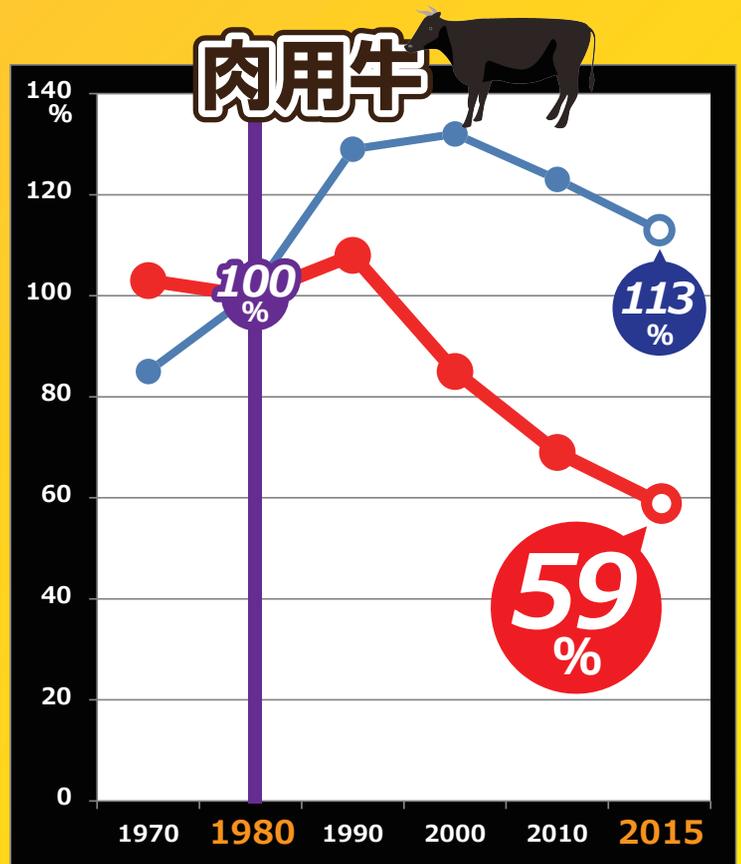
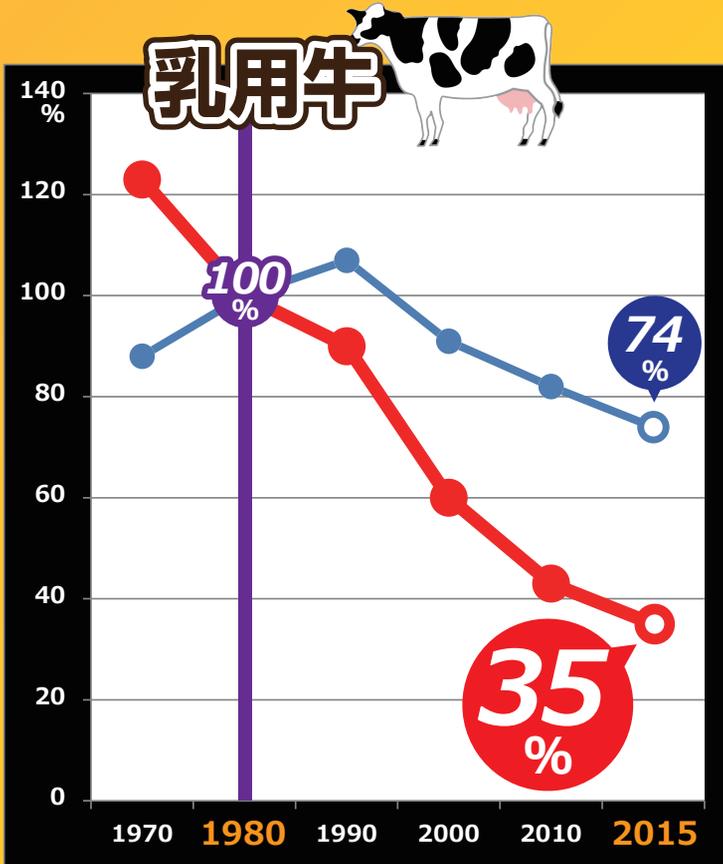
安倍総理講演「2校でも3校でも」

獣医師会からの強い要望をふまえ、
1校だけに限定して特区を認めた。
中途半端な妥協が、国民的な疑念を
招く一因となった…速やかに全国展
開を目指したい。地域に関係なく、
**2校でも3校でもどんどん
獣医学部の新設を認めていく。**



全国・四国の家畜飼育数比率

青いグラフが全国・赤いグラフが四国



山本大臣と獣医師会との意見交換

山本幸三内閣府特命担当大臣（地方創生、行政改革）との意見交換の概要（抜粋）

日時：平成28年11月17日（木）9時22分～10時08分

場所：（仮称）日本獣医師会会館

出席者：山本幸三大臣、近藤貴孝大臣秘書官

出席：国内畜産部長、北村厚人政治連立委員、酒井健夫副会長、増原

（山本）誠に申し訳ないが、獣医師が不足している地域に限って獣医学部を新設することになった。財政的に大丈夫か、待ったをかけていたが、今治市が土地で36億円のほか積立金から50億円、愛媛県が25億円を負担し、残りは加計学園の負担となった。先端のライフサイエンスに重点を置いて、創薬に役立てる。実験動物分野の獣医師は不足しているのでこれに重点を置く。四国は、感染症に係る水際対策ができていなかったため、新設することになった。

（山本）日本獣医師会が決定している。それ以上でも以下でもない。自派としては認めることはできない。特区による獣医学部新設には反対であり、これからは強く言い切る。政変として認められない。大臣自ら一帯に来ていただけない。各団体の長を大臣室に呼んで、こうすると申し渡すのが普通。しかし、今回の決定は、自派が会員とともに積み上げてきたものと相当に開きがある。日獣と政連が「分かりました。」と言うことはできない。大臣から懸念を聞いたということである。現在、獣医学部の獣医学教育を世界水準に上げることに努力している。閣議決定された4条件、特に上記の3つについては重要であり、主張し続ける。これが政連委員長の見解である。

（中略）

（山本）今日はわざわざ大臣に来ていただいて有り難い。しかし、通り合わせがかった。我々も何とかが大臣にならなければいけないと思ってやっていたが、獣医学部新設を決断する役となられた。皆我々も5つの地方会の意見をまとめてやってきました。首を打ってやっています。大学を作ることに反対ではなく、獣医学教育を世界水準にしていかなければならない。地道に学部にして教育水準を上げる努力をしてきた。閣議決定については、前もって調査してきて、我々は認めている。今、大学を作ることは認めている。したがって、大学を作ることに賛成できない。どうしても作るというのなら、国庫水準を満たすものにしていただきたい。将来どうなるのかよく議論していただきたい。特区でやれ。というのはいいいが、その境界がどうなるのか分析して欲しい。我々は、世界獣医師会、世界獣医師会、日本獣医師会等と組んで地道な努力を続けてきた。特区の先立方に一部はこのような努力を認めていただきたい。わざわざ来ていただいたことには敬意を表する。しかし、今、大学を新設することは余りにも乱れと進行する。したがって、大学新設には反対である。我々の考え方を取りまとめて文書にするので、特区の先立方にも読んでいただきたい。

以上

日本獣医師会で行われた、山本大臣との意見交換の概要

平成28年11月17日（木）意見交換概要（抜粋）
（山本）誠に申し訳ないが、獣医師が不足している地域に限って獣医学部を新設することになった。財政的に大丈夫か、待ったをかけていたが、今治市が土地で36億円のほか積立金から50億円、愛媛県が25億円を負担し、残りは加計学園の負担となった。
先端のライフサイエンスに重点を置いて、創薬に役立てる。実験動物分野の獣医師は不足しているのでこれに重点を置く。四国は、感染症に係る水際対策ができていなかったため、新設することになった。

今後のスケジュール（イメージ）

※「獣医師の需給」部分について、随時、農水省・厚労省による判断・対応が必要。

平成28年
10月

第2回今治市分科会、区域会議、国家戦略特区諮問会議
(方針決定) (文科・農水・厚労大臣出席)

「成田市」に比
べ3ヶ月遅れ

(自民党・公明党の文部科学部会等へ報告)

12月

特例告示制定

特定事業を実施すると見込まれる者の公募 ※最短8日間

第3回今治市分科会 (応募事業者の方針への適合確認)

区域計画に定めようとする特定事業の実施主体
の公表及び追加申出 ※最短6日間

競合があった場
合、事業者選定
にさらに時間か
かる見込み

平成29年
1月

区域会議、国家戦略特区諮問会議
(区域計画決定、文科・農水・厚労大臣出席)

区域計画を内閣総理大臣認定

3月

設置認可申請

教員確保や施
設設備等の準
備が間に合わ
ない可能性

8月

審議会の審査を経て、文科大臣が認可

学生募集

平成30年
4月

開学

下村博文議員と加計学園の動き



文科大臣在任期間

2012年12月	文部科学大臣に就任
2013年	加計学園秘書室長（当時）が、下村氏の事務所に 「11の個人と企業」の 100万円を持参 ※収支報告書に記載なし
	下村議員夫人が、 広島加計学園の教育審議委員 に就任（2013年3月）
2014年	加計学園秘書室長（当時）が、下村氏の事務所に 「11の個人と企業」の 100万円を持参 ※収支報告書に記載なし
2015年4月	下村氏が同大教育学部の新設を審議会に 諮問。審議会が8月に認める答申
2015年6月	政府が「国家戦略特区」での獣医学部 新設を検討する方針を示す

今治加計学園と成田の建築費比較

学校名	成田医学部 (※建設中のため概算)	成田看護学部・ 保健医療学部	今治加計獣医学部
建築費 (億円)	128	69.6	148.4
設備費 (億円)	32	— (※補助をしていないので把握していない)	43.69
延床面積 (㎡)	48,550	29,145	32,528
建築様式	鉄筋コンクリート PC	鉄筋コンクリート PC	鉄骨造
建築単価 (万円/坪)	87.2	78.9	150.9
総予算/面積 (万円/坪)	109	—	195.3

鉄骨造で坪単価150万円は、相場の約2倍！

成田の看護学部は特区事業ではないが、建築仕様として医学部と極めて近い。



安倍昭恵さんが写真10件を追加しました。

2015年9月20日 · 🌐

ESG倉敷こども園を訪問。

こどもたちは漢字を読み、九九を覚え、元気にクライミングウォールに挑戦しています。

こどもたちの可能性は無限大・・・

<http://esg-kurashiki.jp/>



29 日 獣連発第 5 号
平成 29 年 6 月 27 日

地方獣医師（政治）連盟代表者 各位

日本獣医師連盟
委員長 北村直人
(公印及び契印の押印は省略)

国家戦略特区による獣医学部新設に係る日本獣医師連盟の対応について

公益社団法人日本獣医師会は、平成 29 年 6 月 22 日に開催された第 74 回通常総会後に「国家戦略特区による獣医学部の新設に係る日本獣医師会の考え方について」を公表し、次のような考え方を地方獣医師会及び会員構成獣医師に示しました。

- 1 我が国の獣医師の需給に関しては、全国的な獣医師総数は不足していないものの地域・職域の偏在が見られることから、その解決のためには魅力ある職場の提供、処遇改善等が必要であること。
- 2 全国的観点で対処すべき獣医師の需給問題の解決及び長期的な視点で検証すべき国際水準達成に向けた獣医学教育の改善には、特区制度に基づく対応は馴染まず、獣医学入学定員の抑制策は維持する必要があること。

しかし、一部のマスコミ報道や有識者の発言等において、同会の対応や我が国獣医療の現状について誤りが生じています。事実関係と対応状況は次のとおりです。

- 1) 同会が「1校のみ」と要請したために今治に1校に限り新設することにしたとの報道は全くの誤りです。同会は昨年 11 月 9 日に特区による新設が決定された後も一貫して特区による新設は馴染まないと主張しており、苦渋の選択として、仮に地域が指定され設置認可申請が行われた場合には、国際水準の獣医学教育の提供と閣議決定された 4 条件を満たすものとなるよう厳しく審査するとともに、1カ所かつ1校のみとするよう、1カ月後の 12 月 8 日に要請したものです。
なお、今般、今治だけに限定せず、新設の全国展開を目指したいと報道されましたが、これについてはその真意を計りかねています。
- 2) 「ペットの診療費が高額だから獣医師を増やして診療費の単価を下げさせる」との意見は、特区による新設問題における論理のすり替えです。人の医療のような公的保険制度が無い中での「小動物医療の指針」等に基づく診療料金の透明性の確保等に係る努力を無視し、高額な診療料金により利益をむさぼっているかのような誤った印象を国民に与えるものとして、6 月 19 日に強く抗議しました。

現在、今治における獣医学部の新設に関しては、文部科学省に設置された大学設置・学校法人審議会において厳正なる審査が行われています。本連盟としては、引き続き特区による獣医学部の新設は馴染まないことを主張するとともに、仮に設置認可申請が行われた場合には、国際水準の獣医学教育の提供と閣議決定された 4 条件を満たすことについて厳しく審査するよう国に対し強く要請しています。

28日獣発第230号
平成28年12月8日

内閣府特命担当大臣
(地方創生・行政改革)
山本幸三様

公益社団法人 日本獣医師会
会長 蔵内勇



国家戦略特別区域による獣医学部の新設に関する要請

11月9日に開催された第25回国家戦略特別区域諮問会議において、「国家戦略特区における追加の規制改革事項について」の中で「広域的に獣医師系養成大学等の存在しない地域に限り獣医学部の新設を可能とするための関係制度の改正を、直ちに行う。」ことが決定され、11月18日付けで「文部科学省関係国家戦略特別区域法第二十六条に規定する政令等規制事業に係る告示の特例に関する措置を定める件の一部を改正する件(案)」に関する意見募集が行われています。

本会は、このような国家戦略特区による獣医学部の新設は、文部科学省、獣医学系大学等多くの関係者による半世紀にもわたる獣医学教育の国際水準達成に向けた努力と教育改革に全く逆行するものとして、適当ではないと主張してきました。

しかし、今回、獣医学教育及び獣医師職域の現状及び将来の在り方について十分な検証も行われず、また、本会等関係者が意見を述べる機会も無いまま、一方的に獣医学部の新設が決定されたことは、極めて遺憾であります。

つきましては、本件に関し下記のとおり要請いたしますので、ご高配を賜りますようお願いいたします。

記

- 1 仮に国家戦略特区諮問会議の決定に従い地域が指定され獣医学部の設置認可申請があった場合には、国際水準の獣医学教育を提供することは勿論、当該獣医学教育施設及び体制が、平成27年6月30日に閣議決定された4条件を満たすものとなるよう、内閣府、文部科学省、農林水産省等において厳しく審査すること。
- 2 今回決定された「広域的に獣医師養成系大学等の存在しない地域」とは、1カ所かつ1校のみであることを公的に明記すること。

以上

供 覧	大	中	小	細	参与 渡辺	保存年	企画 財政部
	市長	副市長	部長	課長	課長 補佐	係長	係 課
					課長 補佐	係長	企画 課 戦略特区推進係 越智 耕二郎
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (第7条 項 号) <input type="checkbox"/> 部分公開 (第7条 項 号)					起案 2017年8月3日	内線 31003	
					決裁	年 月 日 公印承認	

スケジュール共有について

お世話になっております。
内閣府 [redacted] です。

標記について、当事務局での把握が不完全であり、
事業実施際に情報を提供されることが多く、当事務局としても大変困っています。
(とある区域では、大事故になりかけています。いや大事故になっています。)

このような状況を改善すべく、各者でスケジュールの共有を図り、
当事務局からも、そのスケジュールに合わせ、進捗を確認できる体制をつくるべく、
北九州市の別添データを参考に、広島県・今治市のスケジュール表を作成願います。

お忙しいところ恐縮ですが、本日中、遅くとも明日午前中までに御連絡いただけるよう
ご対応いただけると幸いです。

なお、本資料は事務局と各区域との情報共有資料として用いるのみであり、
どこかオープンになる資料としては考えておりません。

ショートな依頼で恐縮ですが、何卒よろしくお願いいたします。

内閣府 [redacted]

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-39 永田町合同庁舎7F
TEL : 03-5510-2472
FAX : 03-3591-1972
E-mail : [redacted]

例) 北九州市.xls (application/vnd.ms-excel)

④ 国家戦略特区へ

Cybozu® Garoon Version 4.2.1 Copyright © 2014 - 2015 Cybozu

(c) Cybozu

3

Myスペース

アプリ一覧

企業図鑑

ポータル スケジュール ToDoリスト 庁内メール Eメール 施設予約 掲示板 アドレス帳 スペース ファイル管理 メモ 電話メモ お気に入り 通知一覧

ワークフロー

Eメール 国家戦略特区 Eメールの詳細

返信する 全員に返信する 転送する 削除する 印刷用画面 オプション 移動する ステータスを変更

【作業依頼】各事業のスケジュール表について

差出人 : (参照/登録)
日時 : 2016年08月03日(水) 09:52
To (3件) :
Cc : (宛先をすべて表示する)

広島県及び今治市
ご担当者様

お世話になっております。
内閣府 です。

標記について、当事務局での把握が不完全であり、
事業実施際に情報を提供されることが多く、当事務局としても大変困っています。
(とある区域では、大事故になりかけています。いや大事故になっています。)

このような状況を改善すべく、各者でスケジュールの共有を図り、
当事務局からも、そのスケジュールに合わせ、進捗を確認できる体制をつくるべく、
北九州市の別添データを参考に、広島県・今治市のスケジュール表を作成願います。

お忙しいところ恐縮ですが、本日中、遅くとも明日午前中までに御連絡いただけるよう
ご対応いただけると幸いです。

なお、本資料は事務局と各区域との情報共有資料として用いるのみであり、
どこかオープンになる資料としては考えておりません。

ショートな依頼で恐縮ですが、何卒よろしく願いいたします。

内閣府
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-39 永田町合同庁舎7F
TEL : 03-5510-2472
FAX : 03-3591-1972
E-mail :

例) 北九州市.xls (application/vnd.ms-excel)

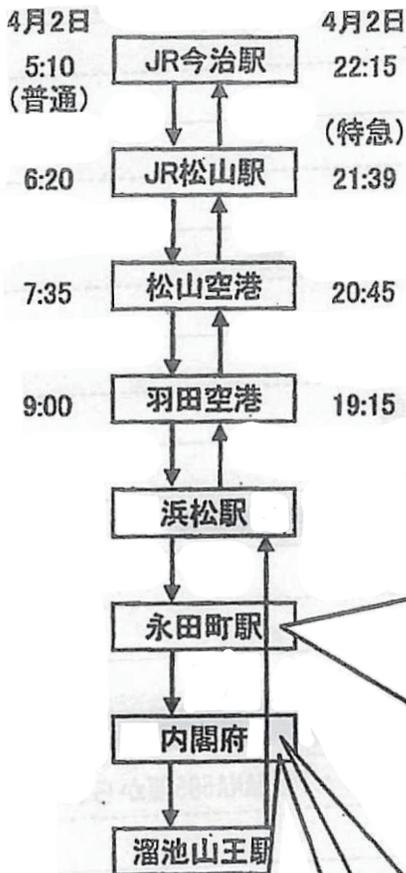
国家戦略特区へ

H28年度 広島県・今治市国家戦略特区実施スケジュール

区分		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	諮問会議・区域会議			(仮)区域会議 (仮)諮問会議						
議会関係	広島県議会関係等			9月議会			12月議会		2月議会	
	今治市議会関係等			9月議会			12月議会	市長・市議会議員選挙		3月議会
個別事業	外国人創業活動促進事業 (H28.4.13認定)	法務省協議	7/29～事業開始		7/29～3/31 事業実施(案件の掘起しを含む。)					
	創業者人材確保支援事業 (H28.4.13認定)		庁内調整 (広島県職員退職手当条例の改正)		4/13～3/31 事業実施(案件の掘起しを含む。)		条例改正			
	特定実験試験周制度に関する特例事 (H28.4.13認定)	総務省協議 (調整中)	総務省告示				10月中旬～3/31 随時、実験実施			
	「雇用労働相談センター」の設置 (H28.4.13認定)				10月下旬 開所		10月下旬～3/31 事業実施			
	人材流動化支援施設の設置 (H28.4.13認定) ※スターアップ人材マッチングセンター: 4/28広島県庁内に設置				4/28～3/31		第1回運営委員会開催			
	高度人材外国人ポイント制 (今後、認定申請)		法務省協議 (調整中)							
	外国人家事支援人材 (今後、認定申請)						事業者掘起し			区域会議希望 (H29～事業実施)
	「道の駅」の設置主体の民間への拡大※最短で手続できる場合 (今後、認定申請)			特区メニューとして 国土交通省の方針 (案)が示された場合		農林水産省事前協議(最短3ヶ月)		公募 区域会議希望 無償貸与仮契約		条例廃止請求 無償貸与請求 農林水産省届出 (H28.4月実施)
	獣医学部の新設 ※H30.4月開学の場合 (今後、認定申請)			分科会希望～文部科学省方針(案)		公募 区域会議希望 無償譲渡仮契約		無償譲渡請求		大学設置認可申請 (H30.4月開学予定)

平成27年4月2日(木) 旅行行程

秋山企画課長



平成27年4月2日(木)
11:30~12:30
獣医師養成系大学の設置に関する協議

場所：東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館
東京事務所

出席者：企画課 課長 秋山直人
企画課 課長補佐 波頭 健

平成27年4月2日(木)
13:00~14:00
獣医師養成系大学の設置に関する協議

場所：東京都千代田区永田町1丁目6-1
内閣府

出席者：企画課 課長 秋山直人
企画課 課長補佐 波頭 健

平成27年4月2日(木)
15:00~16:30
獣医師養成系大学の設置に関する協議

場所：東京都千代田区永田町1丁目6-1 首相官邸

出席者：企画課 課長 秋山直人
企画課 課長補佐 波頭 健

南スーダンPKO「戦闘」日報問題の経緯

12月26日	統合幕僚監部で 日報 データが発見される	1ヶ月後
ことし 1月27日	統幕の 日報 データ発見を  大臣に報告	
1月27日	陸自 に「 個人用データ 」として 日報 データが存在と統幕に報告されるが 大臣に報告せず	
2月 7日	一部の 日報 を公開	
13日	陸自 が 日報 データを保管と統幕副長が  大臣に報告	
15日	 大臣が防衛省幹部と打合せ 統幕長から報告	虚偽 答弁?
3月15日	陸自 が 日報 データ保管と報道	
16日	 大臣「 (データ隠ぺいは) 報告されなかった 」と国会答弁	
今月19日	2月15日に  大臣が「 日報 データ保管の事実を非公表とする方針を了承していた」と報道	

陸自の日報隠ぺい、大臣報告は2月13日

2月13日
17:15
大臣室



湯浅陸幕副長

紙はないかとしか確認しなかった。
データはあったかというとあった。

報告あり



けしからん。明日(予算委で)何て答えよう

14日
国会



(紙、データとも)日報は司令部への報告後に
用済みとなり破棄していたことを確認

15日
大臣室



いつまでこの件を黙っておくのか?

3月15日

報道で陸自のデータ保管が明るみに

16日
国会



報告されなかった

虚偽答弁?

安倍内閣で閣議決定 獣医学部新設「4条件」

日本再興戦略改訂2015 (2015年6月30日閣議決定)

- ① 現在の提案主体による**既存獣医師養成でない構想**が具体化し、
- ② ライフサイエンスなどの**獣医師が新たに対応すべき具体的需要**が明らかになり、かつ、
- ③ **既存の大学・学部では対応困難**な場合には、
- ④ **近年の獣医師需要動向も考慮**しつつ、全国的見地から本年度内(2015年度内)に検討を行う。



前川前文科次官

新設が抑制されていた獣医学部については、特区で認めるための4つの条件が閣議決定されているが、**今回の今治市の獣医学部はその条件をクリアしているとはいえず、新設をする明確な根拠がない。**

獣医学部新設に対する自民党内の意見



石破前大臣

不思議ですよ。なぜ、大臣が変わることでこんなに進むのか、新たな条件が出るのか。世間の言うように、総理の大親友であれば認められ、そうでなければ認められないのか。そうであれば、行政の公平性という観点から、おかしい。——週刊文春のインタビューに答えて

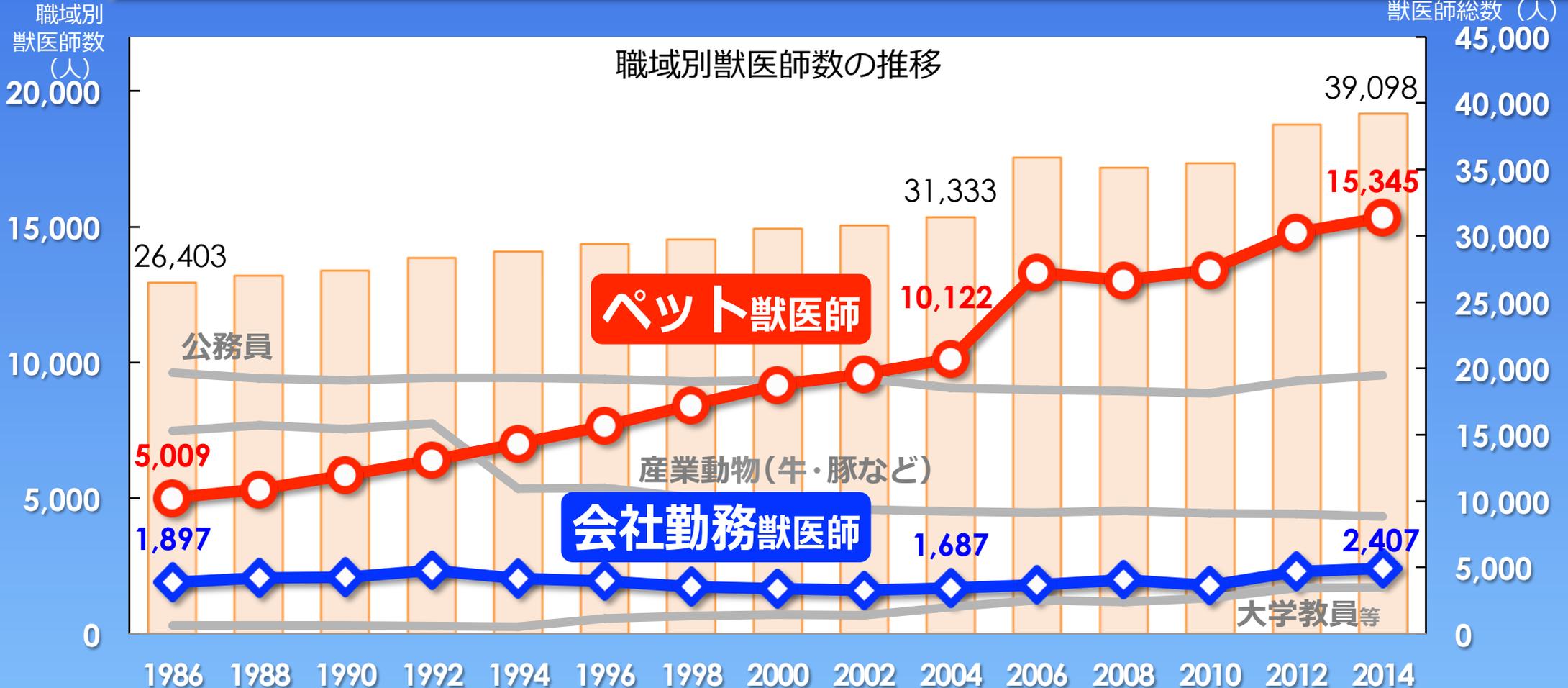


麻生副総理

法科大学院を鳴り物入りでつくったが、結果的に大学院を出ても弁護士になれない場合もあるのが実態。(中略) この種の学校(獣医学部)についても、結果、うまくいかなかったときにどうするかをきちんと決めておかないと(中略) 関係者はいい迷惑をしてしまう。

——獣医学部新設を決定した国家戦略特区諮問会議での発言

4条件「新たに対応すべき具体的な需要」はあるのか



会社勤務獣医師よりもペット獣医師の伸びが大きい

『怪文書』にたびたび登場する「平成30年4月開学」

藤原内閣府審議官との打合せ概要 (昨年9月26日)

○ 平成30年4月開学を大前提に、逆算して最短のスケジュールを作成し、共有いただきたい。成田市ほど時間はかけられない。これは官邸の最高レベルが言っていること（むしろもっと激しいことを言っている）。山本大臣も「きちんとやりたい」と言っている。

萩生田副長官ご発言概要 (昨年10月7日)

○ 平成30年4月は早い。無理だと思う。要するに、加計学園が誰も文句が言えないような良い提案をできるかどうかだな。構想をブラッシュアップしないとイケない。

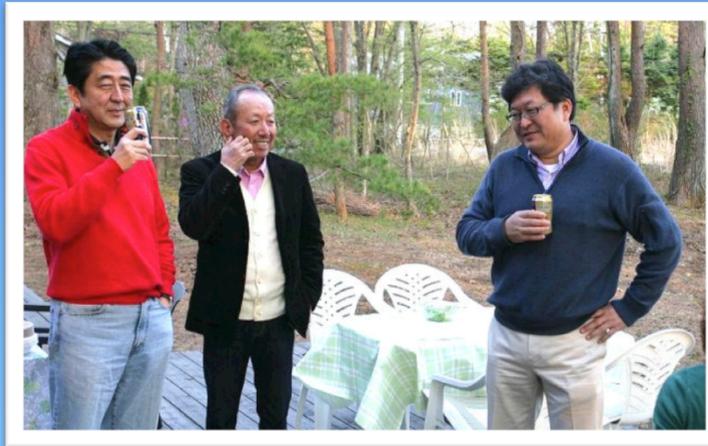
萩生田副長官ご発言概要 (昨年10月21日)

○ 総理は「平成30年4月開学」とおしりを切っていた。工期は24ヶ月でやる。今年11月には方針を決めたいとのことだった。

国家戦略特区諮問会議の基本方針

運営に関する基本的な事項

…**利害関係を有する議員**については、当該事項の**審議及び議決に参加させない**ことができることとするなど、諮問会議における調査審議が**公平かつ中立的**に行われるよう留意する。



加計学園への伝達事項

- 先日、ご説明いただいた構想につき、文部科学省として懸念している事項をお伝えする。
- まず、公務員獣医師養成や人獣共通感染症研究、医学部との連携などは既存の獣医学部でも取り組まれており、日本再興戦略改訂2015との関係で、「既存の獣医師養成でない構想を具体化」や「既存の大学・学部では対応が困難な場合」という観点から、差別化できるよう、よく検討していただきたい。(表現ぶりの工夫が必要。その際、ハードルを上げすぎないように注意)
- 「国際教育拠点」を形成する旨区域方針に書かれているが、先日のご説明では国際性の特色を出す具体的な取組が十分に示されていないので、再検討いただきたい。
- 需要について、先日の説明資料では、公務員獣医師の需要にしか言及がなかったが、毎年定員160名の学生の輩出に見合う応用ライフサイエンス研究者等、獣医高度臨床医の具体的な需要も説明が必要であり、ご準備いただきたい。
- 獣医学部のない四国へ設置することにより、公務員獣医師の確保や地域の防疫・危機管理拠点を形成するとのことであるが、既存16大学では自地域内入学率・就職率ともに低いことから、四国における「具体的な需要」と、地元定着・活用のための具体策も検討が必要である。
- 設置申請に向けて、必要な教員確保や施設整備、資金計画など、万全な準備を行っていただきたい。特に資金については、確保できる額によって、構想の内容も変わってくると考える。確保できる資金と「既存の獣医師養成でない構想」の実現との関係で、十分な検討を行っていただきたい。